



平成25年度

第2回みみらんどセミナー

教科学習シリーズ①

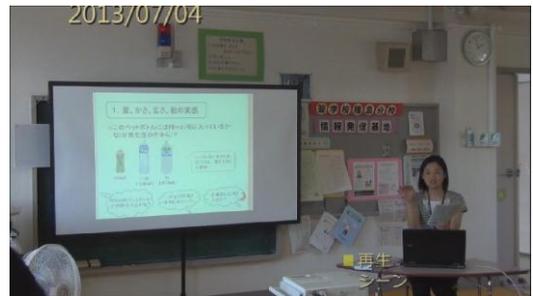
☆ 実施日時 ☆ 平成25年6月27日(木) 13:00~14:30

☆ テーマ ☆ 『算数』の学習のワンポイント

☆ 講師 ☆ 福島県立聾学校福島分校教諭
佐藤 比呂江

第2回みみらんどセミナーの概要をご報告します。

算数の学習の一つ目のポイントとして、「量やかさ、広さ、数についての実感(量感)」をもつことが大切になります。「いつも飲んでいるお茶のペットボトルは何リットルかな」とその表示を覚えているだけでも、経験したことや知っていることが「ものさし」となり、イメージや問題解決のための手がかりになります。二



つ目のポイントとして、「単位のイメージをもつ」ことがあげられます。「○だい」「○ほん」「○ひき」など、物や数によって数える単位が変わります。毎日の生活の中で意識して考えさせたり、教えたり、声に出させたりして、繰り返し触れさせていくことが必要になります。指文字で「いっぱい」「にほん」「さんぼん」と指文字を添えると、分かりやすいと思います。三つ目のポイントとして、「ことばのイメージをもつ」ということも大切になります。たし算やひき算の文章の中には「ぜんぶで」「あげると」などのキーワードが出てきますが、その経験がないと子どもたちはイメージを持ちにくく、たし算なのかひき算なのかという判断することが難しくなります。算数ではありませんが、ことばの学習という面も重要になります。また、低学年のうちには視覚的に問題の意味がとらえられるものが多いのですが、学年が上がると問題文が複雑になります。低学年のうちから、問題文をきちんと読んで意味をとらえることが高学年の学習につながっていきます。算数は数の勉強と思いがちですが、生活を効率よく、早く、美しく、便利にといったことが、算数的思考の奥に広がっています。ドリルが早くできるだけでなく、実際の生活の中でできることや場面はたくさんあるので、情報交換しながら一緒に取り組んでいきましょう。

参加した保護者からは、「0の場合、『0こ』などと単位を付けるか迷う。」などといった普段お子さんとかかわる中での悩みなどが多く出されました。情報を共有しながら意見交換することができ、たいへん有意義なセミナーとなりました。